

平和の祈り

★慰霊・平和への願いを込めて黙とうを捧げましょう

広島、長崎に原爆が投下された時刻や終戦記念日に、家庭や職場で1分間の黙とうをお願いします。

広島原爆忌

8月6日(金) 午前8時15分

長崎原爆忌

8月9日(月・休) 午前11時2分

平和を祈念する日

8月15日(日) 正午

★平和に関するイベント

戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代へ語り伝えるため、市内でもさまざまな行事が開催されます。

平和のよこび展

時 8月6日(金)までの午前9時～午後5時

(最終日は正午まで、火曜日休館)

所 市民ホール 展示室

他 詳しくは、「広報もりやま」7月15日号をご覧ください。

平和を誓うつどい(手話通訳あり)

時 8月6日(金) 午前8時5分～9時

所 市民運動公園 平和の広場

内 広島市の原爆投下時刻に合わせて黙とうを捧げ、恒久平和を願います。

※平和の火からパラリンピック聖火リレーの種火を採取します。

平和の鐘

時 8月15日(日) 正午

内 守山市仏教会加盟の寺院(11ヶ寺)が一斉に鐘を鳴らし、平和の尊さを知らせま

★平和のモニュメントを設置しています

市民運動公園 平和の広場に、「広島被爆石」と「長崎被爆2世柿の木」を設置しています。核兵器廃絶への願いと、未来永劫にわたって平和を求める思いが込められています。



広島被爆石



長崎被爆2世柿の木



平和を誓うつどい

守山市制施行

50周年

個人権政策課

☎ 0582(2)1116

☎ 0582(2)0539



*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

はなしのりな

戦争の記憶を、記録に残して後世へ

守山市遺族会が新たなパンフレットを発行 パンフ制作や看板設置などで平和を訴え

守山市遺族会(山川 芳志郎 会長)は太平洋戦争で犠牲になった人の遺児を中心に、戦争の記憶を語り継ぎ、恒久平和をめざす活動を続けています。

遺族会は毎年この時期に遺品を展示する「平和のよこび展」を開催しているほか、昨年には「守山空襲」についての記憶と語りを集約したパンフレットの発行や、守山駅前総合案内所に看板を設置しました。この活動から、立田町、幸津川町周辺の住民から新しい記憶と証言が掘り起こされ、このほど「残された戦争の記憶(立田証言集)」と題した新しいパンフレットが制作されました。

戦時中に守山市は空襲を受けましたが、遺族会のメンバーの高齢化が進み、その記憶が失われてしまう懸念から、パンフレットや看板などの記録として後世に残すことに力を入れています。



駅前総合案内所に「守山空襲」看板設置(令和2年)



新たに完成したパンフレットを紹介する山川 芳志郎 遺族会会長